



風っ子・環境キャンペーン



パンジー以外にも、学校内にかざられている観葉植物の世話や中庭のそうじなど、校内美化に取り組む環境栽培委員

渋川市

育てたパンジー 卒業生の花道に

渋川市立渋川中学校

渋川市立渋川中学校（渋川）は、年間を通してさまざまな花を育てています。寒さがき

びしい時期に、体がひきしまるような空気の中で色鮮やかなパンジーが美しさを競うように咲いています。

12月に行うパンジーの苗植えは、環境栽培委員会の活動です。今年度も22人の委員が、地元の苗屋さんから届いた、花の大きさが5〜6センチにもなる見事なパンジーを40個のプランターと花壇に植えかえました。「ポットから出すときは優しく、植えるときは根をいためないよう注意しました」と委員長の吉村柚香さん（2年）さん。プランターに植えたパンジーは、卒業式で3年生たちが通る「花道」をかざるそうです。

土のかわき具合を見ながら水をあげたり、花がらをつんだりするのは、昼休みの時間。毎日当番を決め、専用のカードを次の人に回すことで、忘れることがないように工夫をしています。お世話になった3年生の顔を思い浮かべながら、毎日、欠かさず世話をしています。「その様子を見ているせいか、生徒たちはみんな花を大切にしています」と教えてくれたのは、関明美先生。きれいに咲く花々は、生



水やりは、鉢の底から水が流れ出るくらいたっぷり

徒たちの優しい心の表れです。副委員長の小野里立揮さん（2年）は「育てた花が、きれいに咲いているのを見るとうれしくなります」と笑顔で話します。

おおよそ1カ月後、みんなの愛情を受けて育ったパンジーに見送られ、3年生はそれぞれの新しい世界へ羽ばたいていきます。



群馬県のマスコット「くんまちゃん」 許諾第29-110989号

渋川市立渋川中学校

いちむらまさよし
市村正好校長 299人
渋川市渋川2555番地2
TEL:0279-22-2548
創立/1947(昭和22年)年
http://www.shibukawa.ed.jp/shibukawa-j/

勉強、スポーツ以外に、お弁当を持参で取り組む写生大会や、体育館で行う学年ごとの書初め大会など文化活動にも力を入れています。

身近にできるエコ活動

海洋プラスチックを減らそう!

海のない群馬県にいても、「海洋プラスチック」のことは、身近に感じる機会は少ないと思いますが、実はその多くは、私たちが住む陸から流れ出たものがほとんど。プラスチックごみは、一度海に流れると、回収するのは難しく、海の生き物を傷つけます。プラスチックごみは、きちんと分別すれば資源として再利用でき、マイバックやマイボトルなどを使うことで、不要なレジ袋やペットボトルを減らせます。ふだんの生活から、ごみのことを考え、行動することがプラスチックごみを減らすことにつながります。

群馬県環境アドバイザー 原田邦昭

風っ子・環境キャンペーン協賛社

(順不同)

